

令和4年度 「特色ある学校づくり対策事業」実践報告



【佐世保市立大野小学校】

所在地：佐世保市原分町1番地 校長：松田 美穂
児童数：690名 学級数：27学級

学校教育目標



学び合い、高め合い、心豊かで
たくましく生きる子どもの育成
進んで学ぶ子(知)
やさしい子(徳)
元気な子(体)

実践テーマ

学び合い、高め合い、心豊かでたくましく
生きる子どもを育てる

～“かかわる”ことによって学ぶ教育活動づくりを通して～

○知のネットワークを駆使した学びを実現することで、学ぶことの喜びを感じさせる

○さまざまなかかわりから学び、社会性を育成する



実践内容

○知のネットワークを駆使した学びを実現することで、学ぶことの喜びを感じさせる

- ・基礎学力の定着(学力調査による実態把握)
- ・RS(リーディングスキル)を取り入れた授業における、「学びの表出」の場づくり
- ・学びの習慣化 ・個に応じた指導の充実



これまで研修を継続してきたRSの視点を授業に取り入れながら、今年度は自己の学びを表出する場の工夫に取り組みました。学年や学習内容に応じて、様々な形での「学びの表出」を試みながら授業改善に努め、児童の学力や表現力の向上を図っていきました。

本校の学力の実態と今年度の研修の成果を把握するために、3学期に国語と算数の標準学力調査(2・3・5・6年生)を実施しました。今年度の研修が児童の学力をどのように向上させたのか、さらに改善すべき点は何なのか、次年度の研修の方向性を考えるための貴重な資料として活用していきます。

○さまざまなかかわりから学び、社会性を育成する

- ・ふれあい活動で、豊かな心を育てる ・地域と協働した取組で地域への愛情を育てる



図書ボランティア



学習ボランティア



ふれあいボランティア

【図書ボランティア】

毎週月・金曜日の朝に読み語りを実施してもらいました。低学年へのお話会、季節に応じた図書室の装飾・掲示作成等も行っていました。読書に親しむ環境づくりや、読書への興味・関心を高めることができました。

【学習ボランティア】

低学年を中心に授業での学習支援を行っていただきました。担任と連携しながら、個に応じた細やかな支援を行ってもらうことで、低学年時に学習する基礎基本の定着、安心して学べる雰囲気づくりができました。

【ふれあいボランティア】

新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、10月後半よりふれあいルームでの活動を再開しました。毎週月・木曜日の1～3校時後の休み時間、笑顔でボランティアの方々と交流する児童の姿をいつも見ることができました。

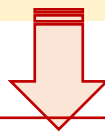


学校開放デー



大豆栽培・味噌づくり

本校の特色ある取組の1つである「学校開放デー」を、今年度再開することができました。新型コロナウイルス感染症対策として、講座と参加学年を限定しての開催となりましたが、児童は学校では学べない専門的な知識を得たり、初めての経験ができました。5年生は、知見寺中山間組合の方々の協力を得て、大豆の栽培に取り組みました。栽培した大豆で、最後は親子での味噌づくり活動にも取り組み、食物の尊さや栽培活動の苦労や工夫、収穫の喜びを感じることができました。体験活動で学んだことを、本やインターネットを活用して詳しく調べ、一人一人が学習をまとめていったことで、日本の食文化への理解、自分たちが住む地域への愛着も深まりました。



児童の学力を支えるのは、日々の授業だと考えます。これまで研修を深め続けてきたRS(リーディングスキル)の視点を取り入れながら、児童の「できた」「わかった」があふれる授業づくりを目指して、これからも授業改善に努めていきます。

また、本校は長年にわたって、多くのボランティアや地域の方々によって教育活動を支えてきていただきました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、こうした方々との連携が難しくなった中でも、場所や方法を工夫しながら「人々とかかわる」活動の実施に努めていくことができました。コロナ禍だからこそ見えた課題は、今後のより良い連携の在り方について、改めて見つめ直すものとなりました。

今後も、地域とともに教育活動を推進し、心豊かでたくましく生きる子どもを育成していけるよう、連携を深めていきます。